

ことうら議会だより

2021年8月1日発行 第69号



トピックス

- ・ 6月定例会 P2
一般会計補正予算をめぐる2つの動議
- ・ 委員会の報告・議員視察研修 P6
大山町のサッカー場と南部町の図書館
- ・ 一般質問 P8
12名が2日間にわたり町政を問う
- ・ 特集 P21
選挙 若者の政治離れ



漁に備えて
赤碕港



令和3年度 一般会計補正

6月定例会

日程：6月8日～17日

◆あらまし

6月定例会は6月8日～17日までの10日間開かれ、陳情、専決処分、一般会計補正予算など17議案が審議された。このうち、3月定例会で除かれた「東伯総合公園芝改修事業」が再提出された。補正予算の審議に先立ち、「補正予算を撤回し、編成替えを求める動議」が提出されたが否決。その後、補正予算案に対する修正動議が提出され、賛成多数で可決。さらに、「修正議決された部分を除く原案」が賛成多数で可決された。

議員提出議案第7号

「令和3年度琴浦町一般会計補正予算（第3号）」を撤回し、編成替えを求める動議

令和3年度琴浦町一般会計補正予算（第3号）につき、議会の意思をふまえた上で、サッカー場は人工芝、多目的広場は天然芝で施工することが望ましいとし、「東伯総合公園芝改修実施設計業務委託費」に人工芝での施工を追加するため、一般会計歳出予算を1,500万円増額し、編成替えを行うよう求める動議が、大平議員ほか5名の賛成者により提出され、賛成少数で否決された。

賛成

（高塚 議員）

町産の芝ではサッカーはできない。サッカー場は人工芝、多目的広場を天然芝に大賛成だ。

（青亀 議員）

議会は多目的広場は天然芝、サッカー場は人工芝という意見書を提出している。マイクロプラスチック問題を盾に人工芝は有害だというのは虚構の議論だ。

（押本 議員）

サッカー場を人工芝、多目的広場を天然芝でという決議が採択されている。これが「最後のチャンス」であるので、動議に賛成する。

（福本 議員）

現サッカー場の管理体制の不十分さから人工芝の案になった。役場の正面玄関の芝の状態がサッカー場の現状で、同じようなことになるのを懸念する。

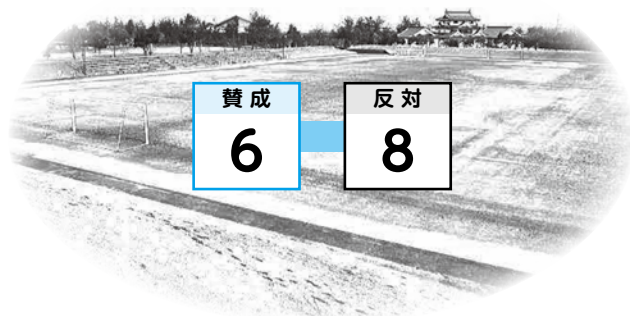
反対

（桑本賢 議員）

総合公園だけでなく赤碕の運動公園や小中学校などで天然の芝生化が図られ、町民が喜んで遊べる環境になることを望む。人工芝には反対。

（角勝 議員）

「草いきれ」という季語があるように、天然芝だからこそ体験できることがある。天然芝で通年サッカーができる環境を作るべきだ。



予算、本会議で修正可決

議案第60号

令和3年度琴浦町一般会計補正予算（第3号）

既定の歳入歳出予算に新型コロナウイルス感染対策事業や東伯総合公園芝改修事業、新型コロナ収束後の経済活動を見据えたワイナリー事業の振興のため、1億5,358万3千円を追加し、総額109億5,083万8千円とする補正予算案が提案された。下記の修正案の可決を経て、「修正議決した部分を除く原案」を可決した。

主な事業

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種
- ◆東伯総合公園芝改修実施設計業務委託料
- ◆新型コロナウイルス感染症対策
- ◆未来のことうらっ子応援
- ◆プレミアム付き「地元商店応援券」
- ◆醸造用ぶどう生産拡大

◆一般会計補正予算に対する修正動議

令和3年度琴浦町一般会計補正予算（第3号）のうち「東伯総合公園芝改修実施設計業務委託料」1,506万1千円を減額し、総額109億3,583万8千円に改めることを求める修正動議が手嶋議員ほか7名の発議者により提出され、賛成多数で可決された。

《原案ならびに修正案討論》

修正案に賛成

（澤田 議員）

芝改修については3月議会で関係者と十分納得できる状況が必要だと述べたが、いまだ様々な考えがあり、全町的に検討を要する。今回はコロナ関係の予算を最優先する。

（桑本賢 議員）

予算の大半はコロナで困っている人たちへの支援であり、芝は琴浦町の問題。町長には琴浦町全体を芝生に、そしてサッカーをする人たちが喜ぶ環境を作ってもらいたい。

（桑本始 議員）

関係人口増加のためサッカー場に人工芝、多目的広場に天然芝というのを主張してきたが、コロナ関連予算を心配したうえで、苦渋の決断だが、減額補正に賛成する。

（新藤 議員）

サッカー需要による招致は理解できるが、現在、多くの町民が苦しんでいる。今はコロナ対策を最優先し、収束後に再度提案すべきだ。

原案に賛成（町長提案のままの案に賛成）

（押本 議員）

大筋で原案に賛成。新電力事業は資金的なリスクがあるので要注意。芝生に関しては日本芝草学会から、適切な管理をすれば天然芝も通年使用が可能だとの回答を得た。

原案、修正案に反対

（高塚 議員）

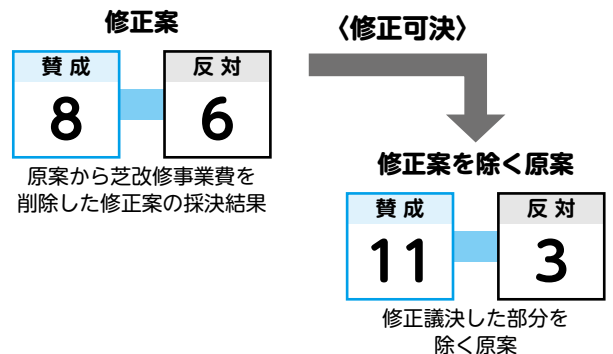
原案のサッカー場の天然芝については納得できる説明がなかった。修正案は3月にも同様のことがあり、今回も同様に天然芝を落とすとは議会として無責任だ。

（大平 議員）

芝生の予算を減額で削除することは、芝の産地をないがしろにするものとも言える。芝発祥の地を否定するような修正動議にも、議会で採択した請願が加味されていない原案にも賛成できない。

（青亀 議員）

議会は「芝発祥の地」であることを考慮し、多目的広場を天然芝で、サッカー場を人工芝にするのがベストだとする結論に至った。今の予算ではそれを実現できない。



議案第66号 物産館ことうらの指定管理者について

令和4年春にリニューアルオープン予定の「道の駅 琴の浦」の指定管理者として、現テナントであり、町内の6事業者で組織されている「株式会社ことうら」を選定するもの。

反 対

(高塚 議員)

設計の予算は可決されているのに、やっと今、指定管理者の選定というのは本末転倒ではないか。1社指定というのもおかしいし、リニューアルプランにも賛成できない。

賛成

9

反対

5

議員提出議案第8号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

反 対

(高塚 議員)

財政的に脆弱な町村が、裕福なところは現状でよいとするのは言語道断だ。琴浦町議会として意見書を出すのはふさわしくない。

賛成

12

反対

2

議員提出議案第12号 生涯学習センター「まなびタウン」の改修を最小限に抑制することを求める決議

琴浦町の財政状況を考えれば、今後「まなびタウンとうはく」の改修が提案される際の詳細設計は、必要最小限の改修に抑制すべきだとする決議が、大平議員ほか2名の賛成者により提出された。

賛 成

(高塚 議員)

現在のエレベーターやトイレをそのまま利用したプランにすればよい。今のところ何の問題もない。

(福本 議員)

利用者の気持ちや考慮されていない。設計よりもどのような運営にするかというようなプランの方が先に来べき。

(青亀 議員)

すべての事業は「最小の経費で最大の効果を上げる」ことが当然なのに設計に凝りすぎており、基本設計は驚愕するような内容になっている。

反 対

(桑本賢 議員)

浦安駅駅舎問題同様、徹底した議論が必要。今やるべきは地元の声を吸収すること。

(押本 議員)

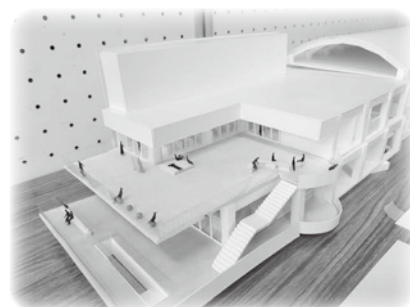
必要最小限の設計は当然である。町民がまなタンの在り方を考えた施設レビューの結果が設計に反映されている。時代に合わせた設計にする必要がある。

賛成

6

反対

8



請願・陳情

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見	本会議採決結果
3年陳情第5号	議会事務局の権能強化について(陳情)	倉吉市 足羽 佑太	議会費の増額・議会事務局の職員確保、権能強化を求める。	総務産業	不採択	不採択
3年陳情第6号	保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	国に対し、保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める。	教育民生	採択	採択
3年陳情第8号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情に関する陳情	鳥取県高等学校教職員組合中部支部支部長 谷口善一郎 鳥取県教職員組合中部支部支部長 川上 慎治	国に対し、中学校・高等学校での35人学級の早急な実施、さらなる少人数学級についての検討、教職員定数改善の推進を求める。	教育民生	採択	採択
3年陳情第9号	地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 琴浦町職員労働組合 執行委員長 難波 浩幸	国に対し、2022年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう求める。	総務産業	採択	採択

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果	議員名																	
		賛成	反対	前田 敬孝	角勝 計介	福本 まり子	押本 昌幸	大平 高志	澤田 豊秋	桑本 賢治	新藤 登子	高塚 勝	手嶋 正巳	青亀 壽宏	前田 智章	桑本 始	井木 裕	小椋 正和	
定例会	議会事務局の権能強化について(陳情)	不採択	4	10	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	議
	地方財政の充実・強化を求める陳情	採択	11	3	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議
	令和3年度琴浦町一般会計補正予算(第3号)を撤回し、編成替えを求める動議	否決	6	8	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	議
	令和3年度琴浦町一般会計補正予算(第3号)修正案	可決	8	6	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	議
	令和3年度琴浦町一般会計補正予算(第3号)修正案を除く原案	可決	11	3	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議
	物産館ことうらの指定管理者の指定について	可決	9	5	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	議
	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決	12	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	議
生涯学習センター「まなびタウンとうはく」の改修を最小限に抑制することを求める決議	否決	6	8	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	議	

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願・陳情は全会一致で採択となりました。

○=賛成 ×=反対 議=議長



委員会

総務産業常任委員会

委員長 澤田 豊秋

6月15日に委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行った。

また、付託された陳情2件（うち1件は継続審査分）について審査した。継続審査の「議会事務局の権能強化」については不採択。「地方財政の充実・強化を求める陳情」については、陳情項目の一部を削除して採択とし、審査を終えた。

午後から、ごりん橋（八橋小学校へ向かうJR跨線橋）の架け替えについて、また、ワイナリーぶどう園の今後の作付け等について、現地で担当者から説明を受けた。



ごりん橋



ワイナリーぶどう園



《 質疑応答 》

Q PFIは混合型（町が90、事業者が10）で決定か、また、意見は言えるか。

A アドバイザリー契約の中で検討する。

Q 利用料金は条例に基づく額か。

A 検討して条例に定める。

Q スクールバスの空き時間を利用して、直売所へ野菜の輸送はできないか。

A スクールバスは考えていない。

Q ビーチスポーツパークを3町合同で地域住民を中心に進めるべきではないか。

A 地元の人を取り組まれるよう応援したい。

Q 今度のプレミアム付き「地元商店応援券」は、物産館と道の駅は使えるか。

A 使える。

Q 船上山遊歩道等の草刈りに助成しては。

A 検討する。

議員視察研修



東伯総合公園芝改修に関する視察研修

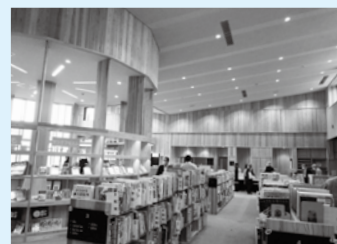
4月28日、町サッカー場改修の参考研修として、町長から要請があり、大山町「夕陽の丘神田」（人工芝と天然芝のサッカー場ほか）に町長以下執行部と議員で合同の視察研修をした。



「夕陽の丘神田（人工芝）」

南部町、図書館を中心とした「キナルなんぶ」視察研修

5月26日、「まなタンリニューアル」の参考研修として、町長から要請があり、5月1日にオープンした複合施設「キナルなんぶ」を町長以下執行部と合同の視察研修をした。



「キナルなんぶ」

の 報 告



教育民生常任委員会

委員長 大平 高志

4月27日に委員会を開催し、「まなびタウンリニューアル」「東伯総合公園芝改修事業」等について、執行部と協議を行った。「まなタン」改修については、教育委員会や民俗資料館の移転、図書館の仮移転等の関連費用の提出を要求。浦安地区公民館移転、成美地区公民館、ふなのえこども園の新築等を協議した。

5月15日「まなびタウンとうはく」で委員会を開催し、東伯総合公園サッカー場について、サッカー関係者と意見交換会を行った。

(委は委員、サはサッカー関係者)

委 町長は議会で芝広場でと説明したが、執行部とサッカー部でどのような意見交換があったか。また、きっかけとなった事業レビューがあったが、どのようにすると言っていたか。

サ 3月議会が終わるまで、全く連絡がなかったが、終了後初めて話し合いをしましょうと連絡があった。4月20日に町長室で意見交換をしたが、最初から芝広場ということだった。まなタンはレビューを尊重するが、サッカー場は参考意見ということで我々も憤慨した。

委 人工芝のマイクロプラスチックがどのくらい環境に影響を及ぼすのか。

サ 雨水を管理するのに、溜めマスが必要、その中にトラップを設けることができるので、年に1・2回溜まったときに清掃すれば取り除くことができる。



サッカー関係者との意見交換会

委 サッカー協会の会員は何名いるか。

サ 県で6,000名、中部で一般38名、高校生206名、中学生206名、小学生300名、シニアが47名。正式にサッカーができるのが中部では琴浦町と湯梨浜町しかない状況。

委 人工芝は10年で張替える必要があると主張しているが、本当に全面張替える必要があるのか。

サ 年々製品のクオリティーが向上して耐用年数が延びている。使用頻度も影響する。部分張替えを多く実施している。

委 町長は芝公園でと言っているが。

サ 子どもたちはふだん、芝のないところで練習している。今のままではケガのリスクが高い。人工芝の方が、子どもたちが安心してできる。

6月3日に委員会を開催し、サッカー場について、5月15日に開催したサッカー関係者との意見交換会についての事後協議を行い、現サッカー場は、芝広場でなくあくまでもサッカー場とすることを協議した。

6月14日に委員会を開催し、各課からの報告事項、議案に関する説明を受け、質疑を行った。

自由討議のあと、「保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める」「教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択」の陳情については採択とした。主なやり取りは次のとおり。

Q 教員免許更新の確認状況はどうなっている。

A 確認は県と町の教育委員会で行っている。

Q 給食費の公会計化が始まったが、未納はどの程度あったか。

A 十数件あった。

Q 文化センター開催の講演会で行われるアンケートの設問を見直しては。

A 内容を考えていきたい。

Q 郡体のサッカー開催場所はどこになるか。

A 総合公園サッカー場で行う。

Q 生涯学習センターの空調の状況は。

A 1台が不具合を起こしている。

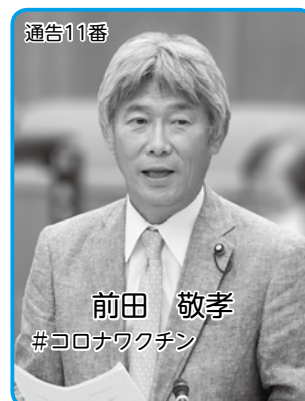
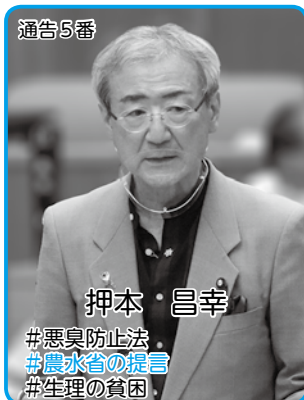
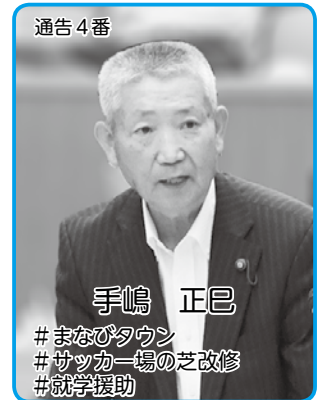
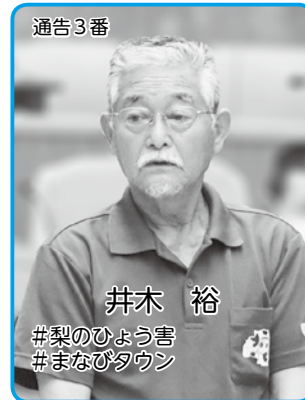
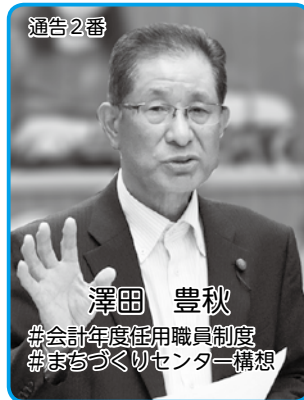
Q 文化センターで行う学習会には参加者制限はないのか。

A 誰でも参加できる。

ここが聞きたい

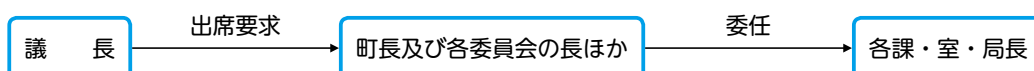
一般質問 Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。
本町議会の質問時間は、1人30分以内（答弁時間除く）。



※青字は、本紙では省略。#は、質問内容のキーワード。

一般質問の答弁者に「〇〇課長」とあるのは、地方自治法第121条の規定により、町長及び行政委員会の長ほかから「委任を受けた説明員」として出席した課・局・室長の答弁。



一般質問通告書

問

- ① コロナワクチン接種の申し込み状況は
- ② 専用水道の今後は
- ③ 高齢者クラブ補助見直しを
- ④ 地区公民館の在り方

答

- ① 順調に進んでいる
- ② 再度調査する
- ③ 見直しを検討する
- ④ 人口減少・少子高齢化へ対応地域の課題解決

小松町長
田中教育長



桑本 賢治 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (10回 15分 + 31分) 46分

問 ワクチン接種の申し込み

私は受付初日に3回電話をコールセンターにかけたが、いずれも話し中でつながらなかった。翌日にパソコンで入力し、申し込みを終えた。

町民の反応はどうだったのか。

答 役場の窓口で 小松町長

町のコールセンターの電話が3回線のみでつながりづらい状況にあり、役場に臨時窓口を設置して、職員14名体制で対応した。

接種後は軽い副反応はあるが、重篤な事例はない。

問 専用水道の今後は

3月の一般質問で、簡易水道・飲用水供給施設は適切に管理されていると回答。

その後、複数の当該組合員より、断水・濁水・漏水等で困っていると苦情があった。対応策について再度伺う。

答 再度調査する 小松町長

再調査を実施し、意見交換を行う。

答 必要な費用を提示したい 長尾上下水道課長

町水道へ編入する際の必要な更新工事の費用を求めて、組合員に提示したい。

問 高齢者クラブ補助見直しを

高齢者クラブの補助対象の基準を10名程度に下げられないか。

答 見直しを検討する 小松町長

10名にすることは検討できるが、活動が、生きがい・健康づくり・ボランティア活動等、地域を豊かにする活動と確認できれば、考えていくことも可能。



保寿会の花壇整備

問 地区公民館の在り方

現在9か所ある地区公民館にまちづくりセンターという看板を併せてかけようと思われた最大の理由は何なのか。

答 人口減少・少子高齢化へ対応 小松町長

人口が減少していくなかで、地域のコミュニティーを維持していくため必要と考えている。

現在、地域の方の理解を得るため、説明に回っている。納得のいったところから始めていくと考えている。

答 地域の課題解決 田中教育長

今まで公民館は、地域の活性化に大きな役割を果たしてきた。最近は世話をする人がだんだんいなくなっている。

地域から人が減ってくる現状で、しっかりと説明し、納得して活動してほしいと思っている。人づくりというものを、その中に加えて取り組みたい。



澤田 豊秋 議員

問

- ①会計年度任用職員制度の見直しを
- ②まちづくりセンター構想は

答

- ①今後検討していきたい
 - ②各地区を回って一緒に考える
丁寧に説明し進める
- 小松町長
田中教育長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (8回 30分 + 36分) 66分

会計年度任用職員制度

問 公民館長、主事の見直しを

令和3年度の会計年度任用職員募集で、公民館長、主事の応募がなかったという地区があり、今でも公民館長不在の地区がある。このことを町長・教育長はどのように捉え、対処するのか。また、早急に見直すべきではないか。

答 今後検討していきたい 小松町長

自治センター的な考えがまだ初めてというところもあり、今後検討していきたい。

答 今後検討していく 田中教育長

この制度ができたときから、公民館長が公募というのは何となく合わないという話はしていた。今後検討していきたい。

問 フルタイムとパートタイムの基準は

フルタイム職員とパートタイム職員の割合は、また、フルタイムとパートタイムはどのような基準でされているのか。

答 フルは専門的技術、パートは事務補助 小松町長

現在254人の会計年度任用職員がいるが、フルタイムが24人、パートタイムが230人。基準は、フルタイムは専門的技術（例えば、保育教諭、技術支援員など）。パートタイムは事務補助ということで、業務量を見ながら雇用している。

問 正職より任用職員が多い現状をどう考えるか

本町の正規職員より会計年度任用職員が多い現状をどのように考えているか。

答 非常に悩ましい 小松町長

非常に悩ましいというよりも、今、正規職員より会計年度任用職員の人数が多いことは事実だ。働き方改革も含めて、私は本来正規職員よりも会計年度任用職員が少ないというのは、一般的な考え方だと思っているが、少し時間がかかると思う。

問 まちづくりセンター構想は

本年度から、地域のさまざまな課題を地域で解決し、活力ある持続可能な地域づくりを目指したまちづくりセンターを、具体的にどのような構想で進めていくのか。

答 各地区を回って一緒に考える 小松町長

区長や公民館の運営協議会で、持続可能な地域づくりを目指して、地域の人たち自らが何をしなければならぬのか。今年、座談会ということで各地区を回って、寄り添いながら一緒にやっていきたい。

答 丁寧に説明し進める 田中教育長

区長なり公民館運営協議会の人々と、具体的にどういうふうにするのか、丁寧に説明しながら進めていく。



問

①ひょう害における梨農家への補助を
②まなびタウンのリニューアルは

答

①被害状況を見ながら対応
②多くの町民の意見を聞いて

小松町長



井木 裕 議員

質疑応答時間 (10回 (質問) 22分 + (答弁) 34分) (トータル) 56分

ひょう害

問

4月下旬に降ったひょうによって多くの梨が傷つき、進物として出荷できる梨の激減が見込まれている。深刻な所得減が予想される梨農家に対して支援をどのように考えているのか。

答

出荷時点にならないと分からない 小松町長

実際の被害金額は出荷時点にならないと分からないが、県の3分の1は町が任意であるけども応分の負担をして対応したいと思っている。

問

今回のひょう害をきっかけに梨づくりをやめてしまう人もいるかもしれない。梨農家を守ることが、町の基幹産業の活性化につながるのではないか。

答

被害状況を見ながら対応 小松町長

高齢で後継者もいなくてやめるといいう方が多くあると認識している。被害状況を見ながら対応したい。



ひょう害を受けたナシ

まなびタウンのリニューアル

問

大規模な改修はどのようなプロセスで現在に至ったのか。

答

公共施設レビューから 小松町長

令和2年度の当初予算で空調の改修を上程。7月補正で施設全体の基本設計。町民の意見を聞くためにワークショップを考えた。

問

11億円という金額を認識した上で、住民説明会や模型造りなどを手配したのか？

答

交付金と地方債の活用 小松町長

今までの形の場合の概算では13億円程度。財政を考え見直しを依頼し、概算で11億円程度。町費だけでなく、交付金と地方債を活用する。

問

4月17日に予定されていた住民説明会がコロナの関係で中止になったが、その後5月23日に実施したのはなぜか。

答

多くの町民の声を聞く 小松町長

ワークショップで200人の意見を聞いているが、それがどれくらい反映しているのかを聞きたくて改めて日にちを設定した。

答

特にないが、ただ日程変更した 田中教育長

社会教育課が主催しているが、特にはない。ただ日程を変更したということ。

問

本庁舎の立て替えは10億円。改修で11億円使うのはいかがなものか？

答

補助率は4割近く 小松町長

11億円の補助率は4割近く。残りは地方債で20年間の分割払いをすることができる。



手嶋 正巳 議員



- ①まなびタウンリニューアル計画を推進するのが
- ②東伯総合公園のサッカー場は日本芝か
- ③小中学校の就学援助は



- ①機能向上、交流やにぎわいの創出
- ②天然芝による全面張替え 小松町長
- ③入学前支給を含めた制度を運用 田中教育長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (21回 19分 + 34分) 53分

生涯学習センター (まなびタウン)



① 2、3年前に外壁の修理に約1億2千万円かけている。その時点で今回のリニューアル事業との関連は考えていなかったのか。

② 予算11億7千万円と聞いている。国庫補助金と比較して地方債、一般財源と合わせると町の負担が多い。借金をしてまでやらなければならないのか。

③ 教育委員会の移転の問題、この件は2、3年前に否決されているが。

④ エアコンの改修、エレベーターの改修、ホールの吊り天井の3件、エアコンの改修にとどめるべきではないか。



3点セットでやらなければ 小松町長

① 雨の吹き込みを止めたいということでエアコンと一緒にという考えはなかった。

② 3億3千万円の純町費を出すことはできないが分割払いであれば財政的にクリアできる。

③ 教育委員会の位置づけが変化してきている。社会教育活動なり、学校の安全など考えた時、教育委員会だけでは対応しきれなくなっている。相談が必要。

④ 建築基準法が変わった。国の指導もあり3点セットでやらなければならないと考えている。

東伯総合公園の芝改修



① 請願採択後、サッカー協会に対してヒアリングや意見交換を3年間一度もされていない、異常ではないか。

② サッカーに携わっている人は、町で100人以上、中部のサッカー関係で797名、県内サッカー協会

登録者6,000名、この状況を承知しているか。

③ 東伯総合公園は立地条件がいいと思う。町内外問わず多くの人に来ていただき盛り上げてもらいたいと思う。そういうことにより飲食店・宿泊施設が潤うと思うが。

④ サッカー場は人工芝で多目的広場に日本芝という姿が一番いいと思うが。



人工芝にするつもりはない 小松町長

① サッカー協会と話を全くしていないということではない。

② 町内に限って見た場合それなりの競技者がいることは承知している。

③ 琴浦町で改修の負担、管理問題を考えたとき、町で引き受けることは荷が重すぎる。

④ 天然芝を剥いで人工芝にするつもりはない。

小中学校就学援助



① 就学援助の内容は。

② 生活保護という条件があり「要保護」と「準要保護」の支援があると聞いているが。

③ 国の調査では小学生50,600円、中学生57,400円と聞いている。琴浦町は上回っているのか。



全国より上

田中教育長

① 小学校入学前に51,060円、年間11,630円、2年生以上は年間13,900円。中学校入学前には60,000円、1年生は22,730円、2・3年生は20,500円を支給している。現在生徒数は小中合わせて1,312名で、その内159名が対象。

② 要保護者が2名、準要保護者が157名。

③ 全国より上ということになる。



- ① 笹津・下市地区に悪臭防止法の規制地域指定は
- ② コロナ禍で見えてきた「生理の貧困」とは



- ① 実態を確認しながら適切に処理したい 小松町長
- ② 実態が分かりにくいが必要なもの 小松町長
貧困だけでなく、今後考え対策を 田中教育長



押本 昌幸 議員

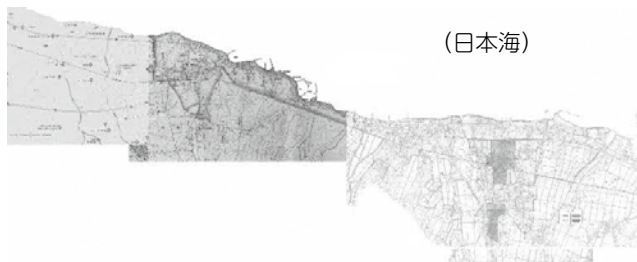
(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (13回 30分 + 28分) 58分

笹津・下市地区に悪臭防止法の規制地域指定は

問 琴浦町の悪臭防止法の規制地域は

悪臭防止法による規制地域が琴浦町でもあるというが。



(日本海)

琴浦町悪臭防止法による規制区域

答 人口の多い海岸部を中心に規制 小松町長

悪臭防止法は、工場、事業所の事業活動に伴い発生する悪臭について、国民の健康、保護を目的として必要な規制をするもの。県知事が指定するが、町長の意見聴取をするとなっている。琴浦町では赤碓地区が昭和48年に、東伯地区が同49年に人口の多い海岸部を中心に指定。その後変更はない。

問 産業廃棄物中間処理施設ができたが規制地域の変更がない

規制区域の地図で、逢束・浦安・八橋・赤碓と続き西端は月の輪川が境となり、笹津・下市地区は入っていない。下市と笹津で約180世帯、460人くらい住む。防潮保安林が失われていて、海岸線から500mくらいあるが塩害があるという。その海岸線に沿って9号線が走り、平成10年その国道沿いに産業廃棄物の中間処理施設の工場ができた。規制がないままでいいのだろうか。さらにその西には赤碓浄化センターがあるのだが。

答 悪臭防止法にあたるかを調べる 小松町長

工場、事業所の事業活動に伴いと法の前文にあり、中間処理施設、浄化センターがそれにあたるのか調べないとわからない。

問 下市に「公害防止協定」はなぜあるのか

下市地区と中間処理施設が「公害防止協定」を令和2年になってから結んでいる。可能性があるのではないか。

答 調査確認を経て判断したい 小松町長

実態を確認しながら、適切に処理したい。

コロナ禍で見えてきた「生理の貧困」 本会議でも課題がスタート

問 単町での「生理の貧困」対策とは

いわゆる生理の貧困について、町長の認識は。また、学校ではどうなのか。

答 実態は分かりづらいが生活上必要なもの 小松町長

県でも事業が始められたが、コロナ対策でスタートしたものの、実態は分かりづらい。今回予算を上程したのは金額の話ではない。実態把握ができないが、生活上必要なものであるし、小中学校にも3月まで試み研究する。

答 貧困だけでなく、女性の当然のもの。今後考えて対策を 田中教育長

生理用品を貧困だから無償で配るのか、人として必要なもので、スコットランドのように当然無償配布すべきか、今後考え、対策をとるべき。



角勝 計介 議員

問

- ①子育て支援策
- ②図書館の再生とは

答

- ①引き続き育児環境改善に努力
- ②図書館は人を育てる場所

小松町長・田中教育長

質疑応答時間 (16回 21分 + 49分) 70分
 (質問) (答弁) (トータル)

問 18歳まで無料化できないか

特別医療費助成制度の中で、小児（18歳年度末）までの自己負担金を無料化できないか。コロナにより失われた2年間の影響で経済格差は広がるばかりだが、この地域での医療格差はあってはならないと考える。子どもは親を選んで生まれてくることはできない。自治体を選んで生まれてくることもできない。せめて自分で稼げるようになるまでの医療は誰でも平等に受けることができる道筋・環境を作っていくのが、この自治体に生まれてきてくれた子ども達に対する大人の務め・役割だと考えるが。

答 一定額の負担はあるべき 小松町長

一定の額の負担はあるべきだと思うが、状況によっては払えない人もあり、それは別途考えていきたい。

問 男性の育休取得啓発は

育児にあまり参加しなくても社会に許された世代の多くが今管理職にある。育休に対する理解の浅さがパタニティハラスメントなどにつながっていないか。また、育休への意識改革をどうしていくのか。国の新法（改正育児・介護休業法）との呼応も含めて、推進策はあるのか。

答 難しい 小松町長

どうすれば男性の育休取得が推進できるのか妙案が浮かばないのが実態だ。

答 意識改革のための教育が必要 田中教育長

制度ができて20年が経つ。取得している実績はあ

るが、いまだに男性教員の育休取得が当たり前という認識にはなっていない。意識改革のための教育が必要だと考える。

問 図書館の方向性は

図書館のリニューアルにあたり、行政の最大のミッションはどれだけ多様な人たちに、いかに多く利用していただけるかに尽きる。それができれば、おのずとそこから文化は発生する。できる限り敷居を下げるのが肝要と考える。デジタル化の今日、存在価値をどう高めていくのか、方向性を尋ねる。

答 コンセプトとしては 小松町長

人との出会い、情報をつかまえる、学びを楽しむ場をコンセプトに考えている。

答 人を育てる場所 田中教育長

読書は感性や情操そして想像力や表現力を高め、心を豊かにする力を持っている。本を通して仲間や人間性を育てる場所、そういう教え方で進めていきたい。



図書館の現状と構想

問

- ①町長選挙に立候補は
- ②キャッチコピーは修正すべき
- ③どうなっている施設管理
- ④「まなタン」改修は、SDGsに逆行

答

- ①今は表明する時期ではない
- ②見直す必要ない
- ③業者に委託
- ④長寿命改修で逆行していない

小松町長
小松町長・田中教育長
小松町長・田中教育長
小松町長



高塚 勝 議員

質疑応答時間 (35回 30分 + 50分) 80分

町長の政治姿勢

問

- ①就任以来、当初予算が3回修正となった。議会との協議不足では。
- ②今年度事業は、来年度にかけての事業が多数ある。来年1月の町長選挙に立候補するのか。
- ③コロナ禍、本庁舎ロビーのテント会議コーナーは、三密対策に逆行している。

答

テント会議三密ではない 小松町長

- ①説明の仕方に不十分もあり、今後努力する。
- ②任期は1月で切れるが、今その時期ではない。
- ③三密とは思っていない。

町のキャッチコピー



問

- ①「小さいくせに ぜんぶある」の「くせに」という用語は、「けれど」等に変更すべき。
- ②「カウベルホール」等を廃止した。キャッチコピーと逆行しているのでは。

答

見直し必要なし 小松町長

- ①非難の意を込めた表現でなく見直す必要はない。
- ②廃止した施設もあるが、生まれた資源もある。

答

変更必要なし 田中教育長

- ①否定的に使われるが、肯定の意味合いもある。

施設等の保守管理

問

数多くの施設を保有しているが、日常的な保守点検はどのように行っているか。

答

法に基づき管理 小松町長

法令に基づく法定点検のほか、担当課による目視点検を行っている。修繕方法は、担当課・施設管理室で協議を行っている。

答

業者に委託 田中教育長

保守点検は業者に委託し、定期的に点検している。大規模な修繕については、施設の今後の在り方と並行して検討している。

「まなタン」リニューアル基本設計

問

- ①設計案では減築するとある。SDGsに取り組んでいるが、ゴール12の「つくる責任、つかう責任」に逆行するのでは。
- ②住民説明会での意見や要望の対応は。

答

意見は検討する 小松町長

- ①長寿命化型の改修であり、目標12の持続可能性に沿った計画である。
- ②意見は、検討しホームページ等で報告する。



リニューアルの模型



青亀 寿宏 議員

問

玄関のテント撤去せよ!!

答

検討する

小松町長

質疑応答時間 (26回 (質問) 27分 + (答弁) 44分) (トータル) 71分

熱中小学校の取組み

問 熱中小目的と成果は

熱中小学校の事業展開の目的は何か、また、これまでの熱中小学校の取組みの成果としてどんなものがあるか。

答 目的は人材育成

目的は、地方創生につながる人材育成・人づくりを地域活性化につなげること。成果は、観光資源の開発、情報発信、ICT教育、外部人材とのマッチングで、地域活性化の芽が出てきている。企業版ふるさと納税にもつながっている。

問 玄関のテント「何をしたい」

熱中小関連でサテライトオフィスからキャンピングオフィスのアイデアを吸収、災害時の活用を提案して本庁舎のホールに半年以上テントを設置している。一体、何をしたいのか？

答 サテライト・リモートに使える

町内出身の人から紹介があり、まだコロナの問題は起こっていなかったが、サテライトとリモートの展開になってきた。こういう型で人が集まる条件が整いつつある。

問 町民が誤解する

災害時に外で仕事ができますよと言って屋根の下にテントを張って職員が会議をする。町民に職員が「キャンプごっこ」をしていると取られる。なんの効果を狙っているのか？

答 キャンプの働き方を目論む

それもあるがキャンプ場で仕事をするということでは一向平を使ってもらいたい。使い方はいろいろある。今の世の中を考えればキャンプ場で働き方改革を私は目論んでいる。

問 テントは外に張るもの

玄関ホールは、休憩・談笑できる設備が完備していた。その代用、ワーケーションのために屋根の下に玄関にどうしてそんなことをしなければならないのか？災害時に対応するのであれば外に張って実証したらどうか？

答 キャンプは外は「固定概念」

キャンプは外という固定概念ならそうなる。出したり入れたりすることを考えれば玄関は広い。有効に使って常時展示している。

問 撤去してはどうか

それを「屁理屈」という。テントは屋外に張るもの、屋内に張って模擬キャンプをやる。本末転倒ではないか。もう取ってはどうか？

答 検討する

検討する。



本庁舎ホールのテント



- ①公共施設における「アスベスト」「夾竹桃」の管理は
- ②環境・省エネに配慮した空調システムを(まなタン)



- ①アスベスト撤去時に調査を、夾竹桃には注意喚起を
- ②詳細設計で検討

小松町長



福本 まり子 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (13回 30分 + 30分) 60分

問 アスベスト、^{きょうちくとう}夾竹桃の実態と対応は

- ①静かなる時限爆弾といわれるアスベスト。その調査(吹付、含有等)と管理体制、管理台帳は。
- ②ばく露のおそれのある施設の有無と対応は。
- ③東伯総合公園PFIのアスベスト調査内容は。
- ④公共施設内の夾竹桃の植栽状況は。
- ⑤剪定や処分はどのように。

夾竹桃は乾燥や大気汚染に強く、街路樹・庭木にと親しみのあるものだが反面強い毒性があり、致死量は青酸カリを上回るといわれている。

一例をあげれば、1980年に千葉県で乳牛の餌に夾竹桃の葉が混ざり20頭が中毒9頭が死んだ。2017年には香川県の小学校で児童2人が葉を口に、はき気や頭痛で病院に搬送されたとのこと。

最近、東伯総合公園の多目的広場で、幼児が夾竹桃の枯れ枝を振り回して遊んでいるのを見て、大丈夫かと心配をする人もいた。処分する考えはないか。



花・葉・枝・根・果実すべてに毒性あり。周辺土壌や生木を燃やした時の煙、腐葉土にしても1年は毒性が残る。

答 撤去する時にアスベスト調査を！ 夾竹桃の立て札修繕と注意喚起を！

- ①平成17年に95か所の調査を実施。うち2か所で吹付剤に確認。翌年撤去。管理台帳はなし。
- ②現施設でばく露する可能性は低い。撤去する時に調査をする。
- ③総合公園をPFIに出すにあたり、総合体育館の建

物を調査対象と想定。

- ④夾竹桃は小学校や農業者トレセン、そして東伯総合公園(102本)、点検したところ一部施設で立て札の破損を確認。早急に修繕を図り、小学校においても注意喚起していく。
- ⑤ワークセンター職員が実施。肌に直接触れないように防御し剪定、焼却処分している。また、PFIの管理計画仕様にも盛り込む。

問 「ゼロ エネルギー ビル」 電力自立システムをまなタンに

まなびタウンとうはくの改築は、運用に支障をきたす部分の修繕、改善に留めて長寿命化を図るべき。エレベーターや吊り天井は改修の必要なし。

空調システムは従来の灯油ボイラー式ということだがSDGsを念頭に置きながら環境や省エネに配慮したもの。また、災害時には大規模停電発生を回避する策を講じるべき。

2018年9月、北海道で震度7の地震に伴ってブラックアウトが起きた。考えられない事態だが、需要と供給のバランスが崩れたことによるものだ。

5月23日の説明会ではソーラーにしてはどうかという意見も出ていた。生涯学習の機能が無くなってしまうと心配する声も聞かれた。

電力に限れば、経産省がゼロエネルギービルの実証事業をやっている。既存の電力会社に依存しない再生エネルギー、防災の拠点等で自己エネルギーができる形をとっていくべきではないか。

答 詳細設計で検討

技術はそのつど新しいものがどんどん出てくる。また、そういった先端技術も考えながら詳細設計で設計会社と相談しながら検討していく。



大平 高志 議員

問

- ①投票環境の整備はどうなっている
- ②監査の在り方は

答

- ①期日前投票所の開設期間拡充を検討
松本選挙管理委員長
稲田代表監査委員
- ②違法性はない

質疑応答時間 (30回 28分 + 33分) 61分
(質問) (答弁) (トータル)

問

新型コロナウイルス感染症対策に取り組む中での投票環境の整備について方針は。投票率向上への取り組みの現状はどうか。

答

拡充を検討 松本選挙管理委員長

投票所の定期的な換気、投票者の入場時や直接触れる物品に対する消毒、受付などは飛沫防止を行う等、対策を実施。投票率向上の取り組みは、広報や期日前投票所への送迎車両の運行など、準備を整える。また感染症対策の面から投票行動の分散化が必要と考え、金・土曜日に開設としている分庁舎期日前投票所が拡充できないか検討している。

問

スーパーで期日前投票は

投票所での人の流れを抑えることと投票率は相反することから、期日前投票の推進が投票率の向上と、混雑を減らすことには有用と思う。例えば、他の自治体ではスーパーなどで期日前投票が行われているようだが、推進していく考えは。

答

問題がある 松本選挙管理委員長

人員を別途配置する必要があり困難。また投票用紙を持ち出しすることになり安全面からも問題。



分庁舎投票所

監査の在り方

問

代表監査の認識は

先の定例会で、「一般社団法人ことうら熱中小学校」に企業版ふるさと納税で受け付けた寄付金全額が熱中小学校に流れることが判明した。

町当局から寄付企業に対する勧誘行為に起因するものとして、それを是正する決議の提案を行ったところ、議選監査でもある桑本始議員が反対した。

これは、問題ないと意思表示したことになる。

特定の事業監査に予断をもって臨むおそれは。監査の報告や意見は法により、意見の統一が求められるが、代表監査の認識も議選監査と同じか。

答

現時点で違法性はない 稲田代表監査委員

立場をわきまえ、公正・普遍の態度で監査を行っている。また、現時点で違法性はないと考える。

問

偏りは法に反する

町企業版ふるさと納税は、地方創生基金条例で行っているが、この中には制度趣旨がある。

地方自治法第241条の第2項には、条例で定める特定の目的に応じ、運用をしなければならないとあり、この第5項には監査委員の基金運用状況の審査に付すとしている。基金の運用状況がその設置目的に沿って、行われているかを主眼とした審査であれば、偏りはこれに反するのでは。

答

監査をしていきたい 稲田代表監査委員

人材育成事業にという、企業の要望と聞いているので、そのように使われているか監査をしたい。



「接種者の正確な数字は把握できない」と報道されたが



あえて出すなと指示をした
小松町長



前田 敬孝 議員

質疑応答時間 (7回 13分 + 13分) 26分



ワクチン接種会場

鳥取県内市町村の高齢者ワクチン接種状況 (6月1日現在)

	1回目接種率(%)	2回目接種率(%)	接種対象者数(人)
鳥取市	15.4	0.7	57,510
米子市	23.1	2.2	44,800
倉吉市	—※1	—※1	16,400
境港市	29.9	5.5	11,275
岩美町	39.5	18.0	4,332
若桜町	68.7	32.8	1,516
智頭町	38.4	17.0	2,999
八頭町	32.9	8.6	6,219
三朝町	31.0※2	12.0※2	2,621
湯梨浜町	29.8	6.3	5,687
琴浦町	—※1	—※1	6,505
北栄町	—※1	—※1	5,410
日吉津村	42.3	36.5	979
大山町	68.9	5.5※3	6,292
南部町	約42	約10	4,155
伯耆町	35.2	7.4	4,332
日南町	67.0	39.3	2,322
日野町	65.6	13.0	1,532
江府町	88.7	15.9	1,354

※1 中部1市4町は自治体を越えた接種を行っているため湯梨浜町を除き、正確な数字は把握できない

※2 集団接種の接種者数のみ ※3 保健福祉センターなわ分のみ

6月3日付 日本海新聞から

問 ワクチン接種の実績と今後の実施計画は

6月3日付の日本海新聞で、県内各市町村の接種状況が発表されていたが、「琴浦町は正確な数字を把握できていない」となっていた。ワクチン接種の予行演習やワクチン到着の様子などは大々的にテレビで流れ、琴浦町は力を入れているものだと思っていたのに、どうなっているのかと疑問に思った町民が多数いる。一般質問での通告はしていないが、どのような理由で発表できなかったかを問う。

答 数字は把握できている

対象人数や1回目は何%、2回目は何%ということとは把握している。接種は住民票のある市町村で受けるということが原則だが、中部の1市4町は琴浦町民であっても、倉吉の病院で接種ができる。全県で何%ぐらい行っているという指標はあってもいいと思うが、大きな町村と小さな町村とで競わせて比較することに意味はないと判断した。一生懸命やっただけでいる医療関係者にこれ以上ということではない。現在7月いっぱい65歳以上の接種を完了するという目標でやっている。

60歳から64歳の方には今月中に接種券を配布し、6月21日以降、医療機関で接種を始めてもらえるよう準備を進めている。

問 健康情報の発信に「健幸アンバサダー」の制度を

さまざまな健康情報を口コミで伝える、「健幸アンバサダー」の制度について、3月の定例会で提案した。見附市、西脇市、宇部市などでこの制度を導入し成果を上げている。災害時に発揮される「地域の力」いわゆる「ソーシャルキャピタル」の向上にも貢献すると思うのだが、導入できないか。

答 今はコロナ対策を優先課題としたい

「健幸アンバサダー」を否定するつもりはないが、ワクチン接種を急ぎ、コロナの収束を願うということをも最大限の優先課題としてやっていきたい。



桑本 始 議員



- ①「半農半X」の創設
- ②ビーチスポーツパークを



- ①「半農半X」を検討
「学びの21世紀塾」を考えてみたい
 - ②3町連携研究したい
- 小松町長
田中教育長
小松町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (7回 30分 + 20分) 50分

琴浦の兼業新スタイル

問 地方移住「半農半X」について

- ①2020年度農業白書は、「半農半X」と呼ばれる動きを紹介し自営就農・雇用就農という就農形態に加えて、新たにUターンして「半農半X」（いわゆる兼業就農）し、農業と他の仕事を両立させる新たな選択肢として注目した。農水省は、耕作放棄地を防ぐ上で「半農半X」の推進が有効と見ている。小田切座長の有識者会議で6月4日に報告書類を提出、6月7日に公表。農村で所得と雇用を確保するため農業以外の仕事も含めて事業を創設する農山漁村イノベーションの推進を提案。農水省は来年度予算の概算要求に反映させたい。琴浦町に兼業農家新スタイルの「半農半X」を取り入れることについて町長の見解は。
- ②移住定住対策の抜本的な見直しについて、大分県豊後高田市（人口2万2千人）は、住みたい田舎のベストランキング総合部門・子育て部門・シニア部門・若者部門で全国1位。165以上の定住支援策があり、移住者231人、子育て移住者160人と空き家の改修が間に合わない。何が移住の決め手なのか。高校生まで医療費は無料。保育料、幼稚園授業料、0歳から5歳、小・中学校の給食費の完全無償化、子育て応援誕生祝い金は第3子は50万円、第4子以降は100万円。5歳から中学生が対象の無料塾、今、宅地造成70区画を無料で貸し出す分譲を開始中とか。半農半移住定住として子育て世代の移住ならば公的支援の抜本的見直しが必要である。町長・教育長の見解を聞きたい。



「半農半X」を検討したい 小松町長



「学びの21世紀塾」は参考に 田中教育長

- ①今、全体的に見た時に農業に関しても地方分散していく1つの考え方として、農業専業は非常に大変な話で、半分農業をしながら半分Xは農業に限らず別の副業という話もあり、仕事の延長であれば自分の得意な部分Xが充実すると思うので、この考え方でやっていきたい。
- ②移住定住対策で豊後高田市の取り組みはぜひ考えていきたい。実現できるものから取り組みたい。ただし、給食費の問題は検討しながら少子化により、今後30人学級の財源との関連もあり、未来の人材づくり対策に充当したい。

日本一の複合型ビーチスポーツパークとして 琴浦・北栄・湯梨浜の合同でクラウドファンディング活用



八橋海水浴場・逢東海岸に ビーチスポーツパークを

小泉八雲・セツ来訪地（八橋・逢東）の観光資源と砂浜の新たな活用、また、日常の海とスポーツによる健康増進等、新たな関係人口の定着と考えるが。



3町連携（琴浦・北栄・湯梨浜）で 研究したい 小松町長

3町連携の話だが、今、他の分野で大山町との連携を含め、琴浦町単独ではいいと思うが、3町連携については研究したい。

2015年に公職選挙法が改正され、投票できる年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられた。選挙権の拡大は1945年に「女性の参政権」が実現して以来約70年ぶり。若者たちの声が反映されることで、政治に新たな流れが生まれる可能性がある。期待したい。

法改正当時、新たに選挙権を与えられた18歳・19歳の若者は全国で約240万人。

《投票率をみると……》

(%)

総務省「国政選挙の年代別投票率の推移」より抜粋

年	国政	全体	18歳	19歳
2016年 (H28年)	参院選	54.70	51.28	42.30
2017年 (H29年)	衆院選	53.68	47.87	33.25
2019年 (R元年)	参院選	48.80	34.68	28.05

選挙年齢引き下げ後、初の国政選挙は2016年の参院選があり、比較的高い投票率であった。しかし、2017年の衆院選、2019年の参院選と次第に低下している。

70年ぶりの法改正でブームとなり、一時的に投票率は上がったものの、若者の政治離れの実態に特段大きな変化がなかった。

若者のみならず全体的に下がってきている。

身近な選挙では

県	区分	選挙期日	投票率(%)	定数	男	女
鳥取県	知事	H31.4.7	53.09↓	—	1	
	議員	H31.4.7	52.70↓	35	30	5

鳥取県資料 (R3.6.20現在)

- ・投票率↑↓は先回との比較、投票率*は前回無投票等により比較不能。
- ・市町村ごとの直近の選挙を掲載。

市区	区分	選挙期日	投票率(%)	定数	男	女
鳥取市	市長	H30.3.25	31.51↓	—	1	
	議員	H30.11.18	41.68↓	32	27	5
米子市	市長	R3.4.18	無投票*	—	1	
	議員	H30.6.24	47.31↓	26	22	4

市区	区分	選挙期日	投票率(%)	定数	男	女
倉吉市	市長	H30.3.25	39.46*	—	1	
	議員	H29.10.1	59.79↓	17	14	3
境港市	市長	R2.7.12	62.29↑	—	1	
	議員	H30.2.4	無投票*	16	15	1

町村	区分	選挙期日	投票率(%)	定数	男	女
岩美町	町長	H29.11.19	無投票*	—	1	
	議員	H30.7.8	62.16↓	12	10	2
若桜町	町長	H30.2.11	79.27*	—	1	
	議員	H30.2.11	79.27*	10	9	1
智頭町	町長	R2.6.7	75.05*	—	1	
	議員	H29.7.9	無投票*	12	10	2
八頭町	町長	H30.4.29	無投票*	—	1	
	議員	R3.4.11	71.22*	14	10	4
三朝町	町長	H29.10.29	79.20↓	—	1	
	議員	H29.10.29	79.19↓	12	12	0
湯梨浜町	町長	H30.9.9	無投票*	—	1	
	議員	R3.4.25	57.67*	12	10	2
琴浦町	町長	H30.1.28	無投票*	—	1	
	議員	H30.1.28	54.62↓	16	14	2
北栄町	町長	H29.10.1	無投票*	—	1	
	議員	H29.10.1	68.36↓	15	13	2

町村	区分	選挙期日	投票率(%)	定数	男	女
日吉津村	村長	H31.4.21	無投票*	—	1	
	議員	H31.4.21	69.45*	10	7	3
大山町	町長	R3.4.18	無投票*	—	1	
	議員	R3.4.18	68.80↓	16	13	3
南部町	町長	R2.10.18	無投票*	—	1	
	議員	R2.10.18	無投票*	14	13	1
伯耆町	町長	R3.1.24	無投票*	—	1	
	議員	R3.4.18	67.31*	14	13	1
日南町	町長	H30.12.16	無投票*	—	1	
	議員	H31.4.21	79.53↓	10	10	0
日野町	町長	H30.2.4	77.49*	—	1	
	議員	H31.4.21	無投票*	10	10	0
江府町	町長	R2.7.19	無投票*	—	1	
	議員	R3.6.20	無投票*	10	9	0

(江府町は無投票欠員1)

選挙権年齢等の満18歳以上への引き下げに対応し、学校現場における政治や選挙等に関する学習内容の充実を図るため、総務省と文部科学省の連携により『私たちが拓く日本の未来』と題して高校生向け副教材が作成された。政治の仕組みや原理について知ることはもちろんのこと、政治が対象とする社会・経済・国際関係などさまざまな分野において現状はどうなっているのか、課題は何か、といったことについて理解することが必要となってくる。

そこで、琴浦町内にある「琴の浦高等特別支援学校」の生徒の皆さんに校内での取り組みを伺った。

《選挙管理委員会の活動》

令和3年度 生徒会執行部の選挙は7月19日。
すでに立候補者の顔ぶれも揃い、準備は整った。
町の選挙かと見間違えうばかりのスケジュールに脱帽。
選挙を支える選挙管理委員の役目とは。



投票日ポスター作り



演説会の司会進行練習

令和3年度 生徒会執行部選挙日程

- 6月9日 立候補者受付開始
- 15日 立候補者受付締め切り
- 16日 立候補者顔写真撮影
- 17～21日 立候補者・応援者・演説文等の選挙公報作成
- 7月15日 期日前投票
- 16日 期日前投票
- 19日 選挙演説会→投票・開票
当選者発表
新生徒会執行部：
顔合わせ、役員決め
- 20日 あいさつ動画作成
(新生徒会執行部)
- 21日 全校集会
新生徒会執行部挨拶
(リモートの場合は動画)



選挙管理委員長
田中七美さん
(3年生)

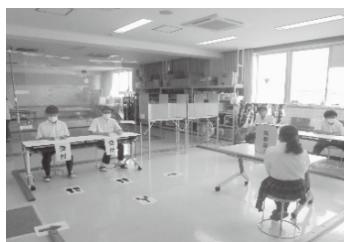
- ・私は選挙委員をやりたいと手を挙げました。
- ・普段かかわることの少ない下級生と協力しての仕事なのでとてもやりがいがあります。
- ・立候補者の写真やマニフェストをはったポスターもつくります。
- ・選挙の1週間前に立候補者のポスターを掲示します。
- ・演説会は生配信です予定で。
- ・期日前投票は、定期受診や進路に関わる理由で欠席する人が投票します。
- ・7名の枠に対し10名が立候補しています。

そこで現執行部の一人に話を聞くと…

- ・今は生徒会の放送・文化委員長をやっています。
- ・立候補の届け出は3名オーバーしています。
- ・当選した7名のなかで互選により会長ほか役員を決めていきます。
- ・私は、生徒会長をやりたいと思っています。



生徒会執行部
亀山明日香さん
(2年生)



昨年の演説・投票の様子

公職選挙法等の一部を改正する法律

2015年(平成27年)6月 法律 公布
2016年(平成28年)6月19日 施行

選挙権年齢等の18歳への引き下げ関係、選挙犯罪等についての少年法の特例等の他、民法の成年年齢等の引き下げに関しても検討。

海外では選挙権年齢18歳以上が主流

国立国会図書館2014年調査によると、世界191の国と地域のうち、9割近くが日本の衆議院に相当する下院の選挙権年齢を18歳以上としている。

アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダなどの先進各国が含まれている。

韓国は19歳以上、アルゼンチン、ブラジルは16歳以上。

生徒会の委員会 は 地域の自治会 と同じ



月1回委員会での話し合い



生徒会総会での答弁

事前に寄せられた年間活動計画に対する質問や要望などをそれぞれの委員会で協議し、委員長が答弁。

〇意見・要望を…

代議員会

・学校生活をより良くするためのアンケート調査を実施したいと考えています。項目について要望があれば聞かせて下さい。

例えば…

放送・文化委員会

- ①給食の時に聞きたい曲や内容。
- ②フェイスブックにのせてほしい内容について要望があれば聞かせてください。

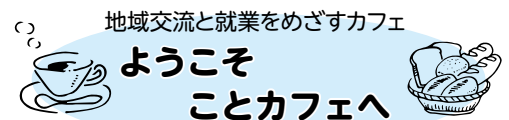
鳥取県立
琴の浦高等特別支援学校

教育方針

- ◎社会の中で自立した生活ができる力を育成する
- ◎職業生活に必要な意欲と能力を育成する
- ◎豊かな人間性、たくましく生きるための心と体を育成する

学校規模

生徒数	: 115名
普通教室数	: 15
特別教室数	: 28
職員数	: 86名



地域交流と就業をめざすカフェ

ようこそ
ことカフェへ

喫茶メニューのほか、自家製パン、新鮮野菜をご賞味ください。

営業日：毎週火・木曜日

営業時間：13:30～15:30

(夏休み 7/22～8/22は休業)

なりたい自分を見つけるぞ!!



鳥取県庁の試験を受けます。ほめられることをうれしく思うので、誰かのために何かできたらと思います。



介護福祉士を目指します。交流会があって、憧れの仕事です。国家資格を取って人の役に立ちたいと思います。



18歳になるとできること

- ・普通自動車免許の取得。(2022.4.1～)
- ・自分の意志で契約をすることができる。
- ・10年有効のパスポートを取得することができる。
- ・自分の意思で結婚することができる。
- ・性別の取り扱いの変更審判を受けられる。

20歳にならないとできないこと

- ・飲酒をする。
- ・喫煙をする。
- ・競馬、競輪、オートレース、競艇の投票券を買う。
- ・養子を迎える。
- ・大型、中型自動車運転免許の取得。

町民の声

敬称略

政治家の責任ある言動と行動に情熱を

政治とはなにか、政治家はどうあるべきかと問われています。新型コロナウイルス感染症に対する方針や対策など、これでいいのかと不安がなくなるからです。

コロナ禍で進んでしまったのは、社会の二極化です。利益を失った人たちと得た人たちがはっきり分かれまじた。労働環境においても以前とほぼ変わらない層と大きく生活状況が変わってしまった人たちがいます。企業においても、職種の違いによる明暗が浮き彫りになりましたが、特に中小企業の状況は、大企業に比べ厳しいものとなっています。これらの格差がコロナ後ではさらに広がっていくのかと心配になっています。

政治家がなかなか表舞台に登場しません。打撃を受けた人々に光が当たるような政策の実行ができたのかという反省があるのでしょうか。政策の目指す方向や姿勢を指し示すことが極めて重要であると思いますが、できたのでしょうか。我々は誰も経験したことがない状況の中にいますが、安心できる解決への道筋や工程が示されたのでしょうか。

政治家の素質について、マックス・ウェーバーはその著書の中で、「情熱」と「責任感」と「判断力」だと説いています。政治家は仕事にふさわしい情熱を持つこと、仕事への責任を行動の指針にすること、冷静に現実をそのまま受け入れる判断能力を持つことだと言います。

我々は、国政においても地方政治においても、「天職」を貫く真の政治家に政治を任せたいのです。政治家の責任ある言動と行動に情熱を感じ国づくり町づくりに参画したいのです。町政のさらなる発展を期待します。



種子 光幸

安心して暮らせる町のトップに

町内の情勢に疎く、役立つような提案もビジョンもない者ですが、世界を恐怖と不安に陥らせているこのコロナ禍で、マスク装着消毒等余儀なくされていても、日々の生活を営むことができるのは、ほんとうにありがたいことです。そのためには、あらゆる人々の努力や忍耐・協力があってこそだからと思います。ありがとうございます。

心が疲れているときも、そうでないときも日本海を眺めるだけで、大山を観るだけで癒されます。町民の生活を脅かすような建造物もなく、景観を損なうものもない琴浦に暮らすことができしあわせです。

現代は多様な情報化社会です。知りたい情報は、即、調べることもできます。その便利さの速度は加速しています。町の情報も、町民が安心して生活を楽しむ日常を守り続ける、恒久的責任があるのではないかと思います。そしてその情報は、十分信頼を構築するものであるべきだと考えていますが、皆さんはどう思っておられますか？

今は人口減が著しくても、空き家が増えても、琴浦町は、将来を安心して人々が集まれる魅力ある場所、戻って来られる安全な町であり続けてほしいと心から願います。

「安心して暮らせる町」を検索すると、トップが「鳥取県琴浦町」でありますように。



小谷 こそえ

あしがき

今の世の中、DX（デジタル・トランスフォーメーション）という語に象徴されるように、なんでもデジタル、デジタルである。この広報誌でさえ原稿はデジタルデータである。

このようにDXの世界であればあるほど、かえってリアル、生もの、ホンモノが求められる。

そんななかで、今回から題字をデジタル・フォントから「書」に変えた。町内在住書家、山田美鈴氏に無理をお願いした。ホンモノである。

氏の紹介は省くが、これからも一層デジタルの世界は進む一方で「デジタル難民」も生じている。「難民」の保護も政治に課せられる。（昌幸）



議会広報常任委員会

委員長	押本 昌幸
副委員長	角勝 計介
委員	高塚 勝
委員	澤田 豊秋
委員	福本まり子
委員	前田 敬孝

表紙写真

撮影地 赤碕港/赤碕町漁業協同組合

題 字/山田 美鈴 氏
イラスト/久和 温実 氏